

小田原市立病院における新型コロナウイルス感染症の感染について

本院は、新型コロナウイルス感染症への対策として、PCR検査や検査結果が判明するまでの間、疑似患者の受け入れを行っております。

先日、本院に勤務する看護師1名が新型コロナウイルス感染症に感染したことをお知らせしましたが、その後の調査やPCR検査により、新たに看護師3名(先日感染を公表した看護師との濃厚接触者を含む)、看護補助員1名及び入院患者3名の計7名の新型コロナウイルス感染症の感染が確認されました。

現在、所轄保健福祉事務所において、感染ルートを調査しておりますが、当院としては院内感染が発生した可能性が高いと見ており、全面的に調査に協力しております。

また、実態として、病院全体の感染ではなく、1病棟内に限定されていることから、徹底的な調査とその対策を実施していきます。

【院内感染が疑われる事例】

感染が確認された入院患者のうち1名は、新型コロナウイルスの疑似患者として個室で入院管理しておりましたが、4月12日にPCR検査で陰性が確認され、CT検査でも典型的な肺炎像が認められなかったことから、他の疑似症患者を受け入れるため、4月19日から22日までの間は、同病棟の大部屋に転室した方でした。当該患者は病状が改善したことから4月22日に退院しましたが、退院後に発熱が続いたため、4月29日に個室に再入院し、再度のPCR検査を実施した結果、陽性であることが判明したものです。

当該患者は高齢であったことから、1回目の入院の際、介助を受けながら食事をしており、感染が認められた病院職員全員(公表済の看護師1名を含む計5名)が当該患者の食事場所の至近で業務を行っていたことが確認されました。

このことに加え、陽性と確認された他の2名の患者についても、当該患者と19日から22日までの間は同室期間があったことが確認されました。

同室であった患者は他に3名おり、うち1人はPCR検査を既に実施し、その結果を待っているところ、残る2名は5月2日に実施予定となっています。

【病院職員感染者の概要】

- (1) 年代：20代1名 30代1名 40代1名 50代1名
- (2) 性別：女性(全員)
- (3) 職種：看護師・看護補助員
- (4) 所属：3階東病棟
- (5) 経過

濃厚接触者：4月28日 看護師1名の陽性を確認(4月29日記者発表済)

4月28日 濃厚接触者9名に自宅待機を指示

4月30日 この9名と新たに症状の出た看護師2名の計11名のPCR検査を実施

5月1日 4名のPCR検査結果が陽性と判明

(6) PCR検査の実施

所轄保健福祉事務所の調査により、今回の陽性判明者との濃厚接触者は6名（看護師5名・言語聴覚士1名）で自宅待機を指示しました。

また、入院患者を起因とする感染の可能性があることから、濃厚接触の有無に関わらず当該病棟の職員全員のPCR検査を5月2日から実施します。

【保健福祉事務所からの指導等による】

【市立病院としての対応】

(1) PCR検査

保健福祉事務所と密に連携を図りながら、当該病棟を担当する医師、看護師、同室患者等に対し、全員にPCR検査を実施します。

(2) 外来患者・入院患者への対応

外来を受診される方及び入院中の患者へ情報提供するとともに、病院のホームページでお知らせします。

(3) 今後の診療について

安全が確認できるまでの間、3階東病棟への新規入院の受入れを休止します。（他の病棟での受入れは継続します。）【保健福祉事務所からの指導等による】